

## 入札監理小委員会の審議結果報告 地震・火山観測網整備及び維持管理業務

国立研究開発法人 防災科学技術研究所の標記業務について、当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

### 1. 事業概要及びこれまでの経緯について

#### (1) 事業の概要

本事業は、公共サービス改革基本方針（平成 29 年 7 月 11 日閣議決定）別表において、新規の事業として選定されたものであり、我が国の地震・津波及び火山に関する調査研究の進展に資するため、全国に整備されている地震・火山・津波に係る観測網について、その整備の進行管理、観測データ処理システムの運用管理、観測データの品質管理、観測装置の障害調査、観測施設の維持管理等を行うもの。

#### (2) 選定の経緯

平成 28 年度事業選定において、公益法人との 1 者応札による契約に該当するものとして自主選定した。

### 2. 市場化テストの実施に際して事業主体が行った取組について

(1) 入札スケジュールの大幅な前倒し、引継ぎに関する事項を実施要項（案）に明示

(2) 入札参加グループでの参加が可能である旨、実施要項（案）に明示

(3) 情報開示の充実、仕様書の全体的な見直し

- ・ 閲覧可能なマニュアル一覧やシステムの基本概要図の開示
- ・ 業界団体（（一社）全国地質調査業協会連合会）に業務概要等を説明、加盟企業への周知を依頼

(4) 事業者へのヒアリング

平成 29 年 9 月の小委で審議した実施要項に基づく入札の結果、1 期目となる現契約において 2 者が応札した。

受注の可能性があったものの応札しなかった 7 者へのヒアリング結果は以下のとおり。

- ・ 業務に他社のシステム運用管理などの不慣れな業務が含まれており、業務を確実に履行できるかリスクがある 3 者
- ・ 必要な技術者や事業者を集めるには時間が足りない 3 者
- ・ 専門分野が異なる 1 者

### 3. 実施要項（案）の審議結果について

#### 【論点 1】

2 者が応札したものの 1 者は予定価格を大幅に上回り、入札価格に大きな差が見られた。以下について整理されたい。

- ・ 応札した 2 事業者の間で入札価格に大きな差が生じた理由の分析
- ・ 複数年契約とした場合の経費変化の分析
- ・ 業務の分割（システム、物、データ管理）についての検討
- ・ 地震、火山、津波の観測網の分割の検討
- ・ マニュアルの開示

#### 【対応】

平成 31 年度事業評価時まで整理することとする。

#### 【論点 2】

2. 1 概要について、現受注者以外にとって過大な負担のように誤解されないよう、観測網の運用を部分的に行う旨を記載されたい。

#### 【対応】

2. 1 の末尾に「本作業は、上記を踏まえ、支援業務等を行うものである。」を追記する。

### 4. パブリック・コメントの対応について

平成 30 年 9 月 7 日から 9 月 21 日まで実施されたパブリック・コメントにおいて、意見等は寄せられなかった。